

(社)日本雪氷学会北海道支部 2009 年度事業計画(案)

1. 支部総会の開催

- 日 時 : 2009 年 5 月 12 日(木) 13 時 30 分 ~ 14 時 30 分
場 所 : 北海道大学 学術交流会館 小講堂
主要議題 : (1) 2008 年度事業報告・収支決算
(2) 2009 年度事業計画案・収支予算案
(3) 支部規約の改定について
(4) 2009 年度支部役員について
(5) 北海道支部設立 50 周年記念行事及び出版について
(6) その他

2. 春の講演会の開催

- 支部設立 50 周年記念講演会に振替え
(9. 北海道支部設立 50 周年記念行事および記念誌発行 参照)

3. 研究発表会の開催

- 期 日 : 2009 年 6 月 23 日(火) 10 時 ~ 18 時(時間は予定)
会 場 : 北海道大学 学術交流会館 第 1 会議室

4. 機関誌「北海道の雪氷」28 号の刊行

昨年度と同様に冊子体の有料化を継続する一方、電子媒体として支部ホームページ上に掲載する。賛助会員(特別・賛助)と購読会員、従来からの寄贈団体には配布希望を確認の上、無料配布を継続する。

5. ニュースレターの刊行(2~3 回)

メーリングリストを活用して、各種行事案内や連絡事項などをニュースレターとして発行する。なお、メーリングリスト未登録会員については、従来通り郵送する。

6. 地域講演会の開催

- 日 時 : 11~12 月頃
場 所 : 帯広市
題 名 : 雪と氷のサイエンス 積雪・凍土・流氷が語る北海道の気候変動 (仮題)
概 要 : 雪氷を含む気象現象は、われわれの日常生活に大きな影響を与える。しかし、この現象を長期間の気候変動とみると、新たな視点で様々な分野に影響を与えることが予想される。科学的な雪氷観測が始まって以来数 10 年。諸先輩たちが積み上げてきた積雪・凍土・流氷観測から北海道を取り巻く気象現象が

どのように変化してきたのか。それぞれ独自に行われた観測結果をすり合わせるにより、浮かび上がる気候変動の実像に迫る。なお、市民大学講座として一般参加者が理解できる内容とする。

講演者： 中村一樹氏・青田昌秋氏・武田一夫氏

7. 理事会の開催

必要に応じて2~3回開催する。

7-1 第1回理事会

日時： 2009年5月12日(火)14時30分~15時00分

場所： 北海道大学 学術交流会館 小講堂

8. 支部ホームページの運営

- ・ 雪氷関連情報の提供
- ・ 会員向け情報の掲載
- ・ コラムやエッセイ等の充実
- ・ 質問コーナーの開設

会員向け情報(総会や講演会、研究発表会など)を支部ホームページに掲載する毎に、メーリングリスト(hokkaido@seppy.org)を使って全会員にその旨通知するサービスを継続する。

9. 北海道支部設立50周年記念行事および記念誌発行

9-1 記念式典

期日： 2009年5月12日(火)15時15分~15時45分

会場： 北海道大学 学術交流会館 小講堂

9-2 記念講演会

期日： 2009年5月12日(火)16時00分~18時00分

会場： 北海道大学 学術交流会館 小講堂

講演：1. 「宇宙で作る氷の結晶 - ISS「きぼう」での無重力実験 - 」

古川 義純 氏(北海道大学低温科学研究所 教授)

2. 「剥き出しの地球 - 南極大陸 - 」

阿部 幹雄 氏(第49次・50次南極地域観測隊員/写真家)

9-3 祝賀会

期日： 2009年5月12日(火)18時30分~20時30分

会場： 北海道大学 ファカルティハウス「エンレイソウ」

9-4 記念誌発行

2009年度雪氷研究大会(9月30日~10月3日:札幌)に合わせて出版予定。

9-5 サイエンスカフェの開催

一般市民が関心を持つ話題を提供し、雪氷学の啓蒙普及をおこなう。2009年度雪氷研究大会（9月30日～10月3日：札幌）の少し前に開催予定。

9-6 各種薄片写真の整備

積雪や海氷・つららなどの氷、南極氷床、樹氷、着氷など様々な雪氷現象を薄片と言う形で捕え、雪氷学会会員の利用に供すると共に、広く一般市民に対する雪氷現象の啓蒙に供する目的でおこなう。電子化して記念誌に含める。

10．社会貢献事業

10-1 雪氷災害調査チームの活動

雪氷災害発生時に随時対応する。

11．雪氷関連行事の共催・後援（研究成果普及事業）

研究成果普及事業の一環として、他分野や他組織による雪氷関連行事を共催又は後援をする。